

防大12期生会

会員 各位

平成27年11月12日

12期生会長

藤田 昭治（陸）

「防大卒業50周年記念会合（仮称）」に関する調査について

1 調査の背景・経緯等

(1) 昭和43（西暦1968）年に防大を卒業した12期生は、3年後の平成30（西暦2018）年に卒業50周年目を迎えますが、12期生会として陸・海・空の会員が一同に会する「12期生防大卒業50周年記念会合（仮称）」（以下これを、単に「記念会合」といいます。）をもってはどうかという会員の声が出ています。また國分良成・防衛大学校長の発意を受け、防大同窓会の事業として、平成28年度から「ホームカミングデー2（HCD-2）」（入校式に合わせて卒業生（毎年1～2個期）が防大を訪問して後輩を激励する行事）が検討・計画されており、大多数の12期生が喜寿を迎える7～8年後頃に順番を迎えることとなります。なお海会員については、「海幹候校（江田島）入校50周年記念行事」が平成30年に広島で開催されることが、既に決定されています。

(2) 少し遡りますが、12期生会は、大部分の会員が自衛隊を退職する時期の平成13（西暦2001）年4月、当時の本部役員等が、会員全員が自衛隊を退職した後の会活動の在り方等を協議した役員会で、「防大及び防大同窓会本部の行う行事等への協力を除き、今後は12期生会としての全体的活動を事実上休止し、活動の主体を陸・海・空別の各期生会に委ねる」ことを決定し、一括保管していた資金（期生会費等のプール金）を、構成人員比率により陸・海・空別の各期生会に分配され、今日に至っています。

その後、防大同窓会本部事業でもある「ホームカミングデー（HCD-1）」（卒業式に合わせて母校を訪問して卒業生を激励する行事）が具体化されたため、平成21（西暦2009）年1月に陸・海・空各期生会の役員等により「12期生会関係役員等意見交換会」を実施して対応を協議、7月には「12期HCD実行委員会」が立ち上げられ、また陸・海・空各期生会から「HCD分担金」を拠出し、12期生会の自主的事业として実施し、同窓会本部に協力することになりました。

(3) 4年前の平成23（西暦2011）年3月20日に実施された『12期生ホームカミングデー（HCD-1）』は、その直前3月11日に発生した東日本大震災のために、当初313名の参加者を予定しながら、結局114名しか出席できませんで

した。また懇親会も中止され、会員から徴収した懇親会費は、陸・海・空各期生会に戻され、会員の同意を得たものは各期生会で被災者等支援金として充当されました。また防大でHCD出席者の『全員集会』を開催、HCD事業の実施報告がなされ、今後の12期生会活動は、これまでどおり防大及び防大同窓会本部の実施する事業を除けば、陸・海・空の各期生会を主体に実施することが暗黙了解されました。

- (4) 「防大12期生会役員等の人事に関する申し合わせ」(平成21年4月21日承認)に基づき、本年4月1日から会長職が空から陸に交代することになり、5月21日に同窓会本部で、新旧役員による引き継ぎ等のための役員会が開催され、その席上「記念会合」についても議論されました。

「記念会合」は、大部分の会員が「第2の仕事人生」も終わり古稀を迎えた昨今、特にHCD-1に参加を希望しながらも出席できなかった会員や、HCD-1当時まだ会社等で「第2の仕事人生」に多忙を極めて参加できなかった会員等から、開催を望む声が多いものとみられます。また7~8年後の「HCD-2」では、会員の高齢化がさらに進むことや、他の期との共同参加になる可能性もあることから、流動的な要素が多いのも事実です。

12期生会執行部としては、平成13年の決定及びHCD-1時の『全員集会』の暗黙了解を尊重いたしますが、『防大卒業50年目という機会を活用して、少しでも元気な時に陸・海・空の同期生有志が集まり、一杯やりながら話をしたい』という会員の声にも、耳を傾ける必要があると考えています。したがって、12期生会全体の事業として、「記念会合」をもつべきかどうかについて、会員の過半数以上にあたるメールアドレス保有者に対して「記念会合に関する調査」を実施して、その賛否等を問うことが、その役員会で決定されました。

2 調査等の概略時程

平成27年11~12月 記念会合に関する調査(メールアドレス保有全会員を対象)

平成28年1月 調査結果の集計・分析

2月 「記念会合」実施の可否等判断

***** (「記念会合」を実施する場合) *****

平成28年3月~平成29年3月 具体的な実施要領の検討等

平成29年4月 役員交代(会長職は陸→海に交代)

平成29年4月~平成30又は31年某月 会場予約、具体的な実施計画の作成、案内状送付・会員への連絡等(全会員を対象)

平成30~31年の某月 「記念会合」の開催

3 「記念会合に関する調査」の目的と協力をお願い

(1) 調査の目的

メールアドレスを保有する全会員を対象に、「記念会合に関する調査」を実施し

てご意見等を聴取し、「記念会合」実施の可否を判断し、また実施する場合にはその実施要領等に反映させるとともに、併せて今後の12期生会活動の資を得ることにあります。

(2) 調査協力をお願い

ア 回答期限

12月12日(土)頃までに、次の「記念会合に関する調査票」の回答を記入して、返信をお願いします。

イ 回答要領

・ 先ず回答者氏名を記入し、陸・海・空区分に印を付し、メールアドレスを記

入した上で、以下の設問に対して、選択する回答記号に印を付け、またご意見等があれば記入してください。

・ 名前および陸海空別は必須記入事項です。メールアドレスも極力ご記入ください。

・ ボックス(名前、メールアドレス、設問5. のB、設問8)は直接ご記入ください。

い。陸海空別、設問1~7は選択するをチェックしてください。印に変わります。

・ 記入を終了したら「確認」ボタンを押してください。内容を確認し、間違いがなければ「送信メール」ボタンを押してください。もし間違いがあれば、ブラウザの戻るボタンで元に戻り修正してください。

~~~~~

### 「記念会合」に関する調査票

【回答者氏名】;

【陸・海・空区分】; 陸 海 空

【メールアドレス】;

< 記念会合に関する設問 >

設問1. 「記念会合」をもつことについて、どう思いますか?

A 「記念会合」をもつことに賛成する。

B 「記念会合」は特に必要としない。

C どちらとも言えない。

設問2. 上記設問1. で、記号「A」又は「C」を選択された方に伺います。

「記念会合」を開催する時期は、いつがよろしいでしょうか？

- A 平成 30 年
- B 平成 31 年

設問 3. 仮に「記念会合」があれば、参加しますか？

- A 参加したい。
- B 参加しない。
- C どちらとも言えない。

設問 4. 上記設問 3. で、記号「A」又は「C」を選択された方に伺います。

もし「記念会合」に参加する場合には、同伴者を伴いますか？

- A 同伴者を伴って参加したい。
- B 会員のみ参加したい。
- C どちらとも言えない。

設問 5. 上記設問 3. で、記号「A」又は「C」を選択された方に伺います。

仮に「記念会合」を実施するとすれば、場所はどこがよいでしょうか？

- A 東京
- B その他  (具体的には )

次に、今後の 1 2 期生会の全体的な活動の参考のために伺います。

< 防大同窓会・1 2 期生会に関する設問 >

設問 6. 同窓会本部が計画する「HCD-2」が実施された場合、参加しますか？

- A 参加したい。
- B 参加しない。
- C どちらとも言えない。

設問 7. 今後の 1 2 期生会の全体活動として、陸・海・空の会員が交流する場（懇親会等）を設けることについて、どう思いますか？

- A 概ね 2 年毎に 1 回実施する。(陸・海・空持ち回り会長在任間に 1 回開催)
- B 毎年実施する。(参加人数等に拘わらず、定期的に、かつ軽易に開催)
- C 次は「HCD-2」時に、懇親会を実施すればよい。
- D そのような場は、特に必要としない。(陸・海・空各期生会別にやればよい。)

設問 8. 「記念会合」や「HCD-2」及び 1 2 期生会の全体活動について、ご意見等

のある方は、自由に記述してください。

以上

~~~~~

確認